作成日：西暦 2026 年 9 月 1 日　第 1 版
〔ホームページ公開用資料〕

がんリハ患者における身体機能評価 Cancer Functional AssesmentSet の実施と課題

1. 臨床研究について

沖縄病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、沖縄病院リハビリテーション科では、現在肺がんの患者さんにおいて化学療法または放射線治療を行いリハビリテーションを実施している患者さんを対象として、リハビリテーション介入の効果に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、沖縄病院倫理審査委員会の審査を経て、病院長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 9 年 3 月 31 日までです。

2. 研究の目的や意義について

がん患者さんは抗癌剤や放射線治療などの治療を行うことにより、吐き気や倦怠感など様々な副作用が出現することがあります。

これらの治療を行う前後で患者さんの日常生活の状況や握力、バランス能力などを評価するために、がん患者さんに特化した評価として cFAS という評価を当院では行っています。

また、cFAS では見ることの出来ない足の筋力に特化した評価として 30 秒間立ち上がりテストも追加して実施しています。

今回は、2 週間以上入院した肺がん患者さんに，リハビリテーション介入を行うことで治療の前後で筋力やバランス、日常生活の状況がどのように変化するかを調査することを目的としています。

これらの状況を知ることにより、今後の適切なリハビリテーションに繋げることができると考えています。

3. 研究の対象者について

沖縄病院リハビリテーション科において令和 8 年 1 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までに肺がんの診断で化学療法または放射線治療を行い、リハビリテーションを実施した 16 名を対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、患者相談窓口までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。また、保管されている以下の情報を用いて、短期および長期間のリハビリテーション介入前後での治療効果を分析します。

〔取得する情報〕
患者情報：年齢,性別,身長,体重,BMI,既往歴,疾患名,合併症,治療内容,入院期間

〔利用または提供開始予定日〕
さかのぼっての調査：研究機関の長の許可日　～2027 年　3 月　31 日

5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付け、容易に個人が特定できる情報を削除して取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対照表のファイルにはパスワードを設定し、沖縄病院リハビリテーション科内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。研究によって取得した情報は、沖縄病院溝上作業療法士の責任の下、厳重な管理を行います。
この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

6. 試料や情報の保管等について

〔情報について〕
この研究において得られた研究対象者の情報は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、個人情報管理者溝上作業療法士の責任の下、5 年間保存した後、研究用の番号等を消去し廃棄します。
また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

沖縄病院では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。
一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して沖縄病院では「利益相反委員会規定」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費はなく、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありま

せん。
　利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。利益相反委員会（窓口：沖縄病院管理課　電話：098-898-2121）

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

　この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は患者相談窓口にご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

　この研究は以下の体制で実施します。

	施設名	職名	氏名
研究代表者	沖縄病院脳神経内科	医師	大屋　祐一郎
研究分担者	沖縄病院リハビリテーション科	作業療法士	溝上　優花
研究分担者	リハビリテーション科	理学療法士	西濱　佑斗
研究分担者	リハビリテーション科	作業療法士	中川　恵嗣
研究分担者	呼吸器内科	医師	知花　賢治
研究実施場所	沖縄病院リハビリテーション科		

10. 相談窓口について

　この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記までご連絡ください。

患者相談窓口	担当者：沖縄病院地域医療連携室 連絡先：〔TEL〕098-898-2121 〔FAX〕098-897-9838